

憲法しんぶん速報版

第77号

2004年3月15日

発行=憲法会議

Tel 03-3261-9007

Fax 03-3261-5453

「5・3憲法集会」の企画決まる

外国代表迎え、国際的意義明確に

「5・3憲法集会」のチラシは18日に完成し、いよいよ集会成功に向けた取り組みが具体化します。すでに、各界の著名人4000人に集会への賛同をよびかける訴えも出され、憲法をめぐる重大な情勢を反映して連日、賛同を表明する返信も届いており、5月3日に向けて熱気が高まってきています。

志位、福島両党首もスピーチ

「5・3憲法集会」の企画は、これまで次のような内容が決まっています。

- ◇司会 大原穰子(方言指導)
- ◇文化行事 コント=ザ・ニュース・ペーパー
歌とお話=横井久美子(歌手)
- ◇スピーチ
 - ・イタリア…「平和のテーブル」
 - ・韓国…「平和を創る女性の会」
 - ・福島みずほ(社民党党首)
 - ・志位和夫(共産党委員長)

各界からメッセージ

これまで、つぎの方々のメッセージが寄せられチラシ刷り込まれています。

- ◇姜 尚中 (東京大学教授)
戦後日本の平和主義は、護憲・平和

「5・3集会」に向けての日程

<第3回実行委員会>

- ・3月23日(火) 18時30分
- ・会場 文京区・シビックセンターホール4F
- ・議題 ①集会の運営・分担、②参加者の確保 ③その他
- ※当日までにチラシができます。必要枚数をお知らせください。

<共同宣伝行動>

- ・4月3日(土) 午後2時

<第2回署名提出行動>

- ・4月5日(月) 12時15分

勢力の多大の尽力にもかかわらず、全体として「あれもこれも」の平和主義であった。日米安保 OK、自衛隊 OK、憲法第9条 OK だった。しかし今や「あれかこれか」の選択が迫られている。日米安保と自衛隊 OK の立場か、平和

憲法 OK の立場か。後者を選ぶ決意ならば、その精神を生かす構想力とヴィジョンが必要だ。「東北アジア共同の家」は、その具体的な拠になると信じる。

◇鶴見 和子（上智大学名誉教授）

ぬかるみの道ふたたびかこわるるま
ま海外派兵に踏みきる日本

日中戦争の時に「いつまでつづくぬかるみぞ」とわたしたちはいいました。そのようなことがふたたび起らないようにするために憲法9条を制定したのです。今後アメリカは先制攻撃の鋒先をどこへ向けるかわかりません。そのたびにアメリカに追随していくことのないように、わたしたちは憲法9条を守りぬぐたことに力をつくしたいと思います。

◇宮城 泰年（聖護院本山修験宗宗務総長）

政府は有事法やイラク特措法など諸々の法案を強行施行し、次は恐るべき共謀罪法案を机下にしのばせ、平和主義に徹し基本的人権を基調として築きあげた憲法を50年かけて取り崩し改憲の目論見を整えてきた。現行憲法に何の欠陥があるというのか。国民の経典とも謂うべき理念ではないか。経典や理念は時の条件に迎合し内容を変えるものではない。

国民が政府や曲学阿世の徒に二度と欺かれないことを切に願うものである。

◇山内 敏弘（龍谷大学教授）

今年の5月3日は、格別に重要な日となる。武装自衛隊が戦地イラクへ出兵するという、憲法9条にあからさまに違反するかつてない事態が生じてい

る中で迎えるからである。改憲論も、マスコミなどをも巻き込んで従来にも増して声高に唱えられている。しかし、日本国憲法が誓った「非戦」は、21世紀の日本及び国際社会の進むべき方向をしっかりと指し示している。今年の集会が、多数の市民の参加の下で平和憲法の今日的意義を再確認し、改憲阻止の幅広い運動を展開するための大きな契機となることを心より期待したい。

◇渡辺 一枝（作家）

「憲法9条がなかったら、私は生まれていなかったかもしれません」、今年の年賀状に書いてきたのは、戦後生まれの友人です。「憲法9条がなかったら、私たちは生きていなかったかもしれません」は、今この国に生きる私たちすべてのことでありましょう。戦争は人と人の戦いではなく、権力が無辜の市民を殺戮するものです。いつの時代も世界のどこにも、「良い戦争」なんてありません。世界中の国々が、戦争放棄をするように、今こそ「憲法9条」を高く掲げて「世界の憲法に!」。これは平和を願う、全世界の人々の声でしょう。何としても、守り抜きましょう。

《憲法改悪に向けた動き》

【自民党憲法調査会】 憲法改正プロジェクトチームは3日と9日に会議をひらき、司法・財政に関する検討項目をまとめました。司法分野では、憲法裁判所の設置について「幅広く検討すべきだ」とし、憲法 89 条の公金支出に関する規定の見直しを検討項目にもりこみました。